

旭川印刷製本工業協同組合／北海道印刷工業組合旭川支部 この広報は従業員にも掲示回覧してください。

## 洋紙の値上げ実施

洋紙の値上げがついに実施されました。感圧紙、カード類、封筒、名刺が値上げを表明しています。近いうちにコピー用紙、色上質紙の値上げも予想されます。新聞用紙が4月1日から値上げで交渉に入ったと伝えられています。

日本製紙 新聞用紙、4月から値上げ

日本製紙は31日、新聞用紙を4月1日納入分から4,000ページ分当たり100円値上げすると発表した。同社の新聞用紙値上げは2008年4月以来。

古紙や石炭などの原燃料価格の高騰に加え、物流コストも上昇傾向にあるため。日本製紙は北海道内で紙を製造する抄紙機2基を19年度中に停止するなど生産設備の集約を進めているが「コストダウンの限界を超えた」としている。(2019.2.1SankeiBiz)

オフセットインキ、名刺印刷などに使っている昇華型リボンも値上げを予定しています。

材料費が印刷代金に及ぼす影響については常に顧客に情報を流していかないと、顧客が対応できませんし、印刷会社が、「影響が微少」として何も説明しないと大きな影響の出る物件で「何も言ってなかったしよ」と了解を得られなくなります。

組合員においては当組合のお願いやメーカーや業界紙の情報を提供して周知を図り、かつ理解を求めていくことをお願いします。(HPからダウンロード)

## 再生紙が受注生産扱いへ

古紙の高騰などにより再生紙(上質・コート・マット)が品揃え扱いから受注生産扱いに変更された。王子製紙のエコグリーンが市内で多く使われているが、現状在庫がなくなり次第、受注生産扱いつまり見込み生産と在庫はしないので、なくても御免扱いにな

ります。役所でグリーン購入のために再生紙を指定することが多いですが、事情を説明して代用品を使うことになるかもしれません。

## 労働基準法改正4月から

前号では喫緊に対応しなければならない内容でしたが、ちょっと余裕があるが、対応しなければならない内容です。

**労働時間の記録**をとらなくてはなりません。タイムカード、パソコン稼働記録などを管理監督者も記録しておきましょう。

**同一労働同一賃金**について、同一労働は何かとか同一賃金とか難しい面もありますが、現状の差別、例えば通勤手当や賞与、社会保険などの有無は是正しなければなりません。額は規定によって決めます。

**無期転換ルール**は短期雇用が5年繰り返された人は申請があれば無期雇用に転換する必要があることです。雇用条件は別に定めます。

定年後の再雇用については申告によってルールが免除されます。

北海道労働局：第二種計画認定・変更申請書

**月60時間以上の残業は割増賃金率が50%**になります。中小企業は2023年4月からですが、休日出勤や深夜でなくても割増賃金は1.5倍、深夜になると1.75倍になります。

その他、介護育児休業法が改正されています。インターバル勤務、テレワーク勤務(在宅など)も推奨されています。

訂正:行政指導だった月45時間年360時間の残業規制が法律による制限となるのは中小企業では2020年4月からです。

## フレッシュ新年号決算

フレッシュ新年号発刊にあたり各広告主のご協力により予算通り発行することができました。協賛各社に御礼申し上げます。

尚、今年の担当社は編集組版が総合企画、印刷製本が旭川アートプロセスでした。時間がない中、ご苦勞様でした。

組合員名簿を表紙の4に配してもありますので、いろんなシーンでの活用をお願いします。事務局からは周辺市町村長、学校などにも配布しております。

## 日本自費出版文化賞作品募集中

日本中の自費出版(制作費用の全部または一部を著者が負担して出版)を部門別に評価し、顕彰しようというものです。印刷コンクールとちがい、応募するのは著者であり、印刷の出来より内容を評価するものです。締め切り3月31日、応募料2,000円

募集部門は次の通りです。

- ① 地域文化部門
- ② 個人誌部門
- ③ 小説部門
- ④ エッセー部門
- ⑤ 詩歌部門
- ⑥ 研究評価部門
- ⑦ グラフィック部門

詳しくは日本自費出版ネットワークのホームページをご覧ください。

## 「奇跡の本屋をつくりたい」1万部

久住邦晴さんは当組合の事業主懇談会で講師をして頂きましたが、2017年8月に他界しました。その後有志が草稿などを整理し「奇跡の本屋をつくりたい」と題してミシマ社から出版されました。新聞広告によると1万部を突破とのこと。旭川市内書店にもあります。是非ご覧になってください。



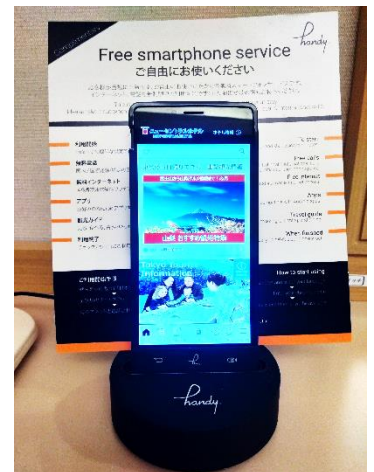
## PAGE2019終わる

日本印刷技術協会主催のPAGE2019が2月7,8,9日池袋サンシャインシティコンベンションセンターで行われました。初めはプリプレスの展示会でした。電算写植機、電子組版、電子集版機など。今はプリプレスからプロダクションプリンター、連続製本機等の展示会と無料有料のセミナーとで構成されています。特にAdobe社の無料セミナーは会場一杯にそれらしい人が熱心に受講していました。ここが一番の熱気です。期間中約67,000人の入場者で、昨年とほぼ同じでした。ちなみにIGAS2018は5日間で56,000人の入場者でした。

今年のテーマはデジタル×紙×マーケティングです。展示物がテーマとピタリではありませんが、我々の呻吟する課題が凝縮されていると思います。

## 無料スマホが使える

東京のビジネスホテルに無料スマホが置いてありました。ホテルや観光施設などがスポンサーになっているのでしょうか、普通に使えます。電話も出来ます。持ち出しも可能で、実際に持ち出して使ってみました。



そのまま持っていく人はいないのだろうかと心配しましたが、使い始めるときにチェックアウトの日付を入れます。全てのプライバシーデータが消去されるとうたっていますが、要は、その後は使用できない仕組みなのでしょう。

どんなところにもビジネスが生まれるのだなと感心しました。

### <事務局日誌>

2月6-8日 PAGE2019(東京)

<予定>

2月15日 北印工組三役会(札幌)

2月15日 北印工組札幌支部例会

3月4日 第10回理事会

3月8日 北印工組下期北海道地区協議会(札幌)

